



令和6年度「全国学力・学習状況調査」高鍋町の結果について

本調査は、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象とした教科に関する調査（小学校～国語、算数 中学校～国語、数学）と児童生徒質問紙調査です。今回の調査によって測定できることは、学校における教育活動の一部ではありますが、結果を真摯に受け止め、今後の指導に活かしていくことが大切であると考えています。

高鍋町教育委員会といたしましては、この結果を分析し、児童生徒の学力や生活習慣の向上に向け、取組の重点を定め、各学校の実態に応じて支援を行ってまいりたいと考えています。

また、子どもたちの健やかな成長のためには、家庭、地域の協力が欠かせません。今後とも各学校へのご理解とご協力をお願いいたします。

1 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の概要について

○ 実施日

令和6年4月18日（木）

○ 対象

小学校第6学年（177名）及び中学校第3学年（176名）

○ 目的

- ・ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・ 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○ 内容

(1) 教科に関する調査（小学校～国語、算数 中学校～国語、数学）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 質問紙調査（児童生徒・学校）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 結果の表記について

各教科や児童生徒質問紙等の結果については、以下を基準として表記しています。

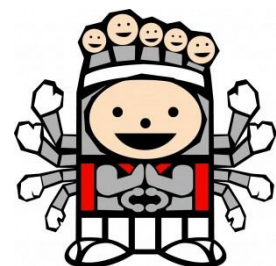
同程度・・・・・・・・国平均との差が±1未満

ほぼ同程度・・・・・・・・国平均との差が±1～3未満

やや高い（低い）・・国平均との差が±3～5未満

高い（低い）・・・・・・・・国平均との差が±5～7未満

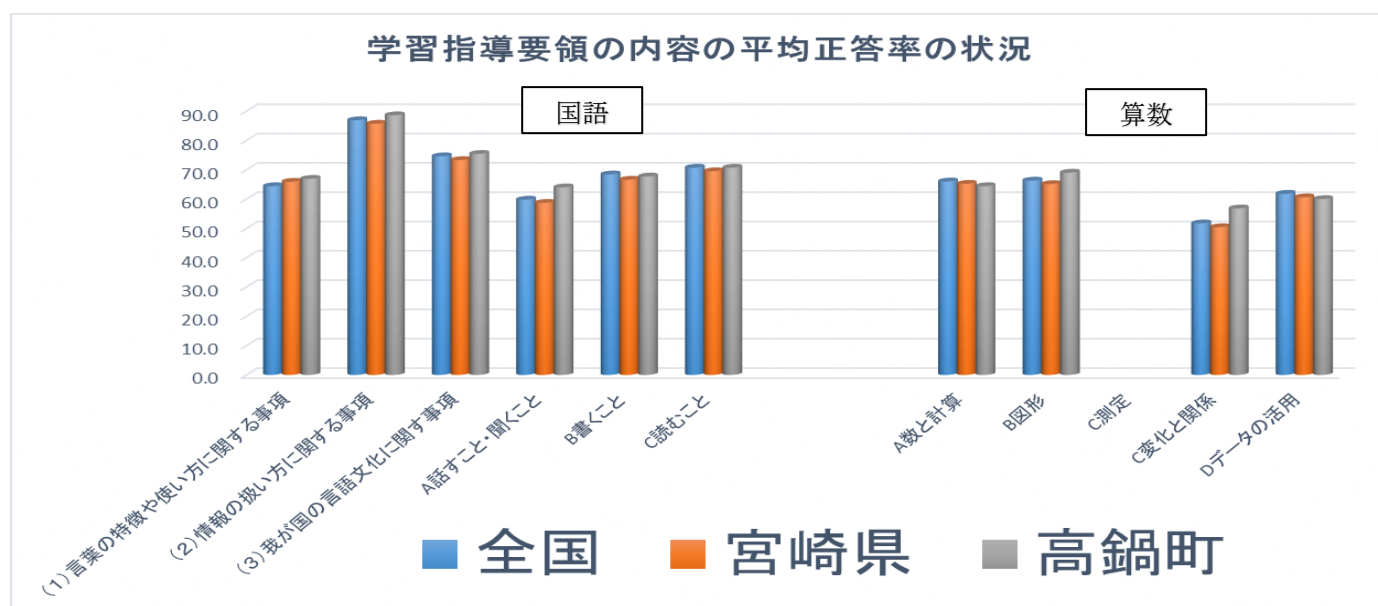
相当高い（低い）・・国平均との差が±7以上



■ 本町の結果概要

(1) 小学校

ア 教科に関する調査の結果



◎ 2教科の平均正答率は、全国平均とほぼ同程度の結果です。

○ 国語の正答率については、全国平均とほぼ同程度です。

- ・ 「話すこと・聞くこと」については、全国平均よりやや高い結果で、「我が国の言語文化」、「書くこと」及び「読むこと」については、全国平均とほぼ同程度で、「言葉の特徴や使い方」及び「情報の扱い方」については、ほぼ同程度の結果となっております。

○ 算数の正答率については、全国平均とほぼ同程度の結果です。

- ・ 「変化と関係」については、全国平均より高い結果となっております。「数と計算」、「図形」及び「データの活用」については、全国平均とほぼ同程度の結果となっております。

イ 児童質問紙の結果

【生活習慣に関する主な項目】

☆ 基本的な生活習慣に関する質問「決まった時刻に起床する」は、全国と比較して肯定的な回答をしている割合は、ほぼ同程度の傾向にあり、「朝食を毎日食べる」は同程度の傾向にあります。

☆ 「自分によいところがありますか」に対する肯定的な回答の割合は、全国と同程度の傾向にあります。

☆ 「将来の夢や目標」に対する肯定的な回答の割合は、全国よりやや高い傾向にあります。

★ 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」は、全国と比べて相当低い傾向にあります。

【学習に関する主な項目】

☆ 「学級活動で話し合い、お互いのよさを生かして解決方法を決めている」では、全国よりやや高い傾向にあります。

☆ 「授業でのPC・タブレットのICT機器の使用頻度（週3回以上）」は、全国より相当高い傾向にあります。

★ 「授業では、課題解決に向け自分で考え、自分から取り組んでいる」では、全国と比べて相当低い傾向にあります。

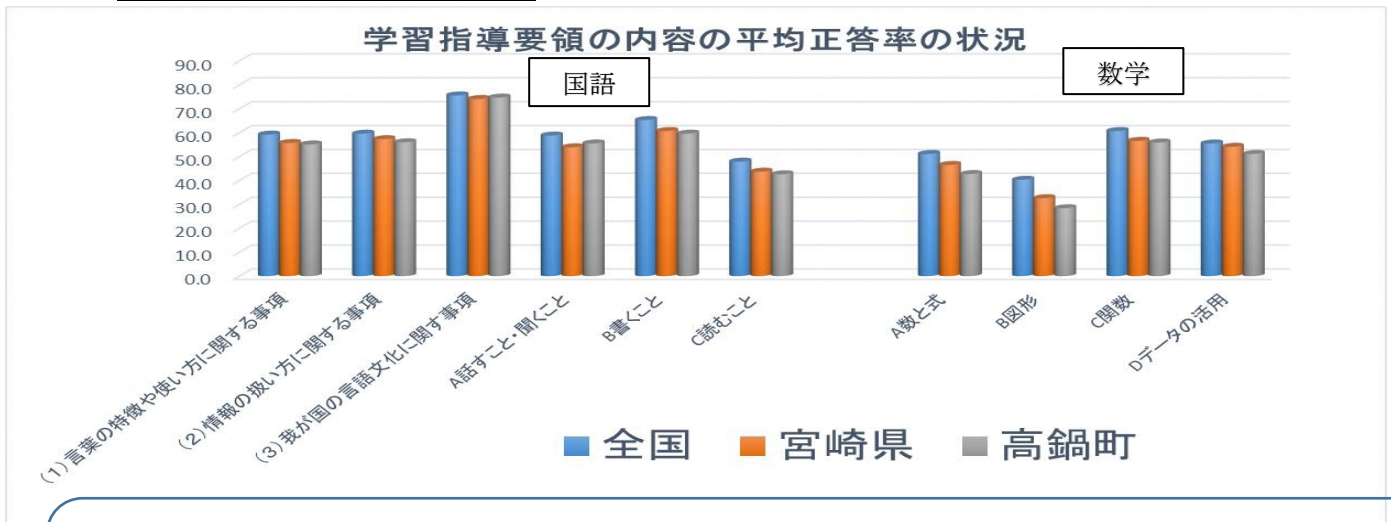
★ 学校以外での「普段の1日の勉強時間（1時間以上）」では、全国と比較して相当低い傾向にあります。

【課題】

主体的に学習に取り組む態度の育成が求められます。

(2) 中学校

ア 教科に関する調査の結果



- ◎ 2教科の平均正答率は、全国平均より低い結果です。
- 国語の正答率については、全国平均よりやや低い結果です。
 - ・ 「我が国の言語文化」については、全国平均と同程度です。「言葉の特徴や使い方」、「情報の扱い方」及び「話すこと・聞くこと」については、全国平均よりやや低い結果です。「書くこと」及び「読むこと」については、全国平均より低い結果となっております。
- 数学の正答率については、全国平均より相当低い結果です。
 - ・ 「関数」及び「データの活用」については、全国平均より低い結果です。「数と式」及び「図形」については、相当低い結果となっております。

イ 生徒質問紙の結果

【生活習慣に関する主な項目】

- ☆ 基本的な生活習慣に関する質問「決まった時刻に起床する」は、全国と比較して肯定的な回答をしている割合は、やや高い傾向にあり、「朝食を毎日食べる」は、同程度の傾向にあります。
- ☆ 「自分によいところはありますか」に対する肯定的な回答の割合は、全国とほぼ同程度の傾向にあります。
- ☆ 「将来の夢や目標」に対する肯定的な回答の割合は、全国とほぼ同程度の傾向にあります。
- ★ 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」は、全国と比べて低い傾向にあります。

【学習に関する主な項目】

- ☆ 「授業でのPC・タブレットのICT機器の使用頻度（週3回以上）」は、全国より相当高い傾向にあります。
- ★ 「授業では、課題解決に向け自分で考え、自分から取り組んでいる」では、全国と比べて相当低い傾向にあります。
- ★ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。」では、全国と比べて相当低い傾向にあります。
- ★ 学校以外での「普段の1日の勉強時間（1時間以上）」では、全国と比較して相当低い傾向にあります。

【課題】

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や家庭学習の工夫改善が求められます。